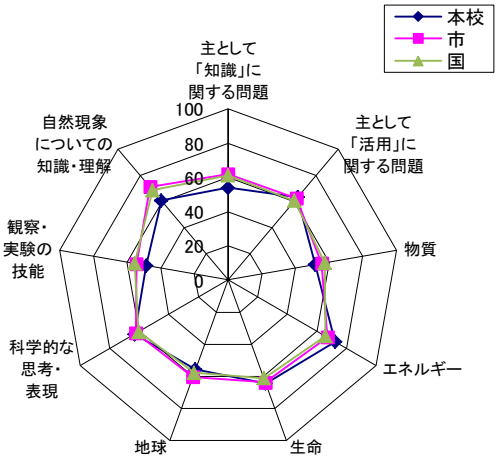
宇都宮市立平石北小学校 第６学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	54.0	61.9	61.3
	主として「活用」に関する問題	63.2	62.2	60.5
区分等	物質	51.7	55.7	57.4
	エネルギー	72.2	67.2	65.6
	生命	64.3	63.8	61.2
	地球	55.8	60.5	57.8
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	63.2	62.2	60.5
	観察・実験の技能	48.6	54.4	55.5
	自然現象についての知識・理解	60.7	71.1	68.6



★理科に関する質問紙調査の状況

・理科に関して「好きだ」「大切だと思う」と肯定的に考えている児童がほとんどである。環境的にも，自然の中で遊んだり観察したりした経験がある児童が多いことが分かる。
・調査問題の解答時間については，足りないと感じている児童も多くおり，特に記述問題についてはじっくり考える児童が多い傾向にあると考えられる。

★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質	・領域の平均正答率は，宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・グラフを基にして考察・分析する問題では，正答率が高かったが，実験結果を基に自分の考えを記述する問題で正答率が極端に低かった。 ・技能についての正答率も低くなっている。	・教科書教材の学習の中で，これまでに学習した内容に触れながら，器具の名称等についても復習を行っていく。 ・児童が，これまでに学習した内容を用いて，考えて説明する場を多く設定するようにくふうする。
エネルギー	・領域の平均正答率は，宇都宮市の平均を上回っている。 ・振り子の実験について，特に正答率が高くなっている。	・児童が，これまでに学習した内容を用いて横断的に考えられるように教材や練習問題を工夫する。
生命	・領域の正答率は，宇都宮市の平均正答率とほぼ同じである。 ・顕微鏡の操作方法についての問題の正答率は低くなっている。	・教科書教材の学習の中で，これまでに学習した内容に触れながら，顕微鏡の使い方についても復習を行っていく。 ・児童が，これまでに学習した内容を用いて横断的に考えられるように教材や練習問題を工夫する。
地球	・領域の正答率は，宇都宮市の平均正答率を下回っている。 ・方位を判断すること，星座の動き，水蒸気についての問題で，特に正答率が低くなっている。	・教科書教材の学習の中で，これまでに学習した内容に触れながら復習を行っていく。 ・児童が，自分の言葉で理解したことをまとめられるよう，授業の展開を工夫していく。